

# 農作業中の死亡事故はこんなに起きています！

◆ 農作業中の死亡事故は、近年は350件前後発生し、他産業と比べても多い状況です。(平成27年調査:338件)

◆ 特に65歳以上の高齢農業者の事故が多いですが、死亡に至らない事故(ヒヤリ・ハット体験)は、高齢者に限らず発生しています。

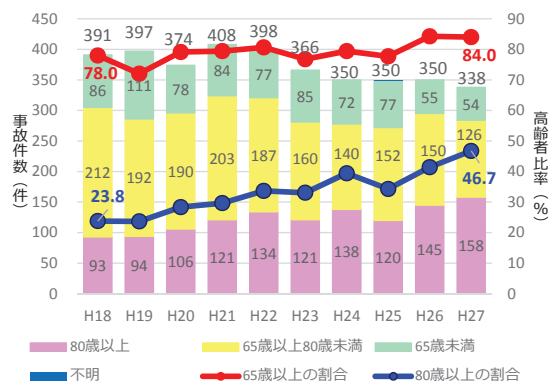
◆ 最近でも、若い担い手の事故が発生しています。  
 ◆ フォークリフトで搬送中、横転し下敷きになって死亡(20代)  
 ◆ 刈払機で草刈り中、近くにいた人の刃がキックバックし腕を裂傷(10代)

◆ 事故の原因は、農業機械が全体の約6割、その中でも乗用型トラクターでの事故が多いです。

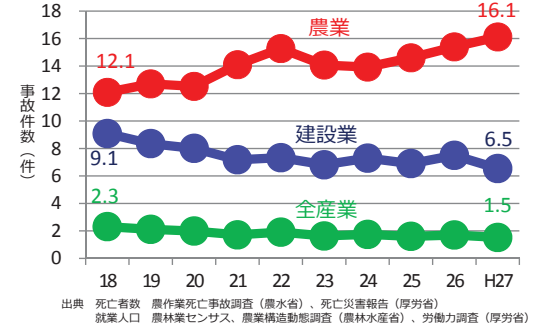
◆ 私たちが大切にしたい農業は、大変危険な作業を伴う職業です。まずは、はじめやすい安全対策から取り組んでみてください。



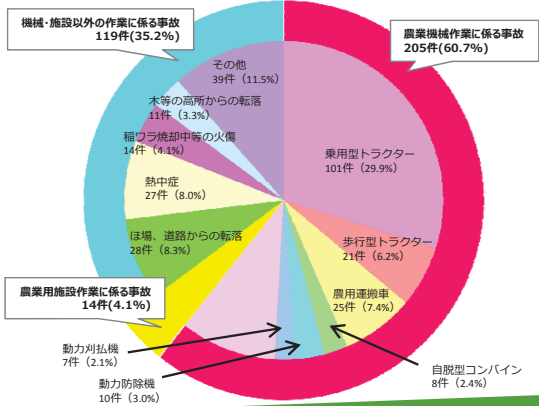
## 農作業死亡事故の発生状況



## 10万人あたり死亡事故発生件数の推移



## 農作業死亡事故の内訳



# 農作業安全に取り組むヒント

安全な農作業に取り組むためのヒントを紹介します。ここに掲載できなかった大切な項目もあるので、農林水産省のHPを参照するなどして安全確保につなげてください。

### 乗用型トラクター

- 安全キャブ・フレームのついたトラクターを使用し、シートベルト・ヘルメットを着用するようにしましょう
- 安全に通行できるよう、環境を整備しておきましょう

安全フレームは必ず立てて使用する

ヘルメット

シートベルト

例 農道周辺  
 脱輪防止やすれ違い時の安全のために道路の幅を標示します。  
 角を隅切りし、カーブミラーを設置します。  
 すれ違いや回行場所を決めておきます。  
 路肩が分かるように時々草刈りします。  
 危険力所には棒や標を設置します。

### 歩行型トラクター

- 後退時は必ず後方確認するようにしましょう
- 安全装置のついた機械を選ぶようにしましょう

目印のリボン

看板

後方確認

例：デッドマン式クラッチ

クラッチレバーを握っている間は動力が伝達され、手を離すとクラッチレバーが自動的に戻って動力が切れる構造のクラッチ

後退する場所に目印や看板を設置しましょう

### 刈払機

- 事前に環境を点検・整備しておきましょう
- 安全な服装で作業を行うようにしましょう

飛散防止のため、作業現場の異物を取り除いておきましょう

転倒を防止するため、足場をつくりましょう

保護メガネ(ゴーグル)

保護帽(ヘルメット)

耳覆い(イヤーマフ)

作業衣(長袖)

腕カバー

防振手袋

作業衣(長ズボン)

すね当て

滑りにくい作業靴(先しん入り)